

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月14日 更新

事務事業名		交通安全施設設置事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	青木洋治
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	小山可愛
	基本事業	11	交通安全施設の整備			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款2	項1	目3	事業連番10050	法令根拠	交通安全対策基本法	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 16 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		
								成果優先度評価結果	③
								コスト削減優先度評価結果	④

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・カーブミラー、区画線等交通安全施設の設置、修繕等維持管理を行う。 ・交通規制関係の要望を行う。 交通事故の減少を目指し、施設整備を始めた住宅地並びに事業所の増加に伴い人口、自動車等も多くなった。また、道路の総延長距離も延びて、交通危険箇所は増加している。
【業務の流れ】	・地区からの要望書の取りまとめ及び市内全域の調査、設置の決定、設計書の作成、発注、検査、支払い ・地域からの報告または破損の確認、現場確認、発注、検査、支払い ・地区からの要望書の取りまとめ及び市内全域の調査、公安委員会へ要望書の提出
【主な予算費目】	・需用費〔修繕費〕・工事請負費・役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	住民からカーブミラー設置、停止線、標識等の要望が多く寄せられている

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・市民又は区長等からの要望や連絡を受け、現地を確認し新設及び修繕等に対応した。また、規制を必要とするものについては、大津警察署へ要望を行った。		・カーブミラー、停止線、区画線、標識の設置工事及び修繕工事費の増
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア カーブミラー新設数	箇所	・カーブミラーの経年劣化による修理等の増加により、修繕費の増
イ カーブミラー修繕数	箇所	・各行政区より、交通安全施設工事(カーブミラー・停止線等)の要望が多く工事費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民		→ ア 市民
		→ イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・見通しの悪い交差点及び危険箇所を減らし、安全確保を維持する。		→ ア 交通事故発生件数
・未然に交通事故を防止する		→ イ
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
①活動指標	ア	箇所	22	21	20	14	20	20	20	20
	イ	箇所	75	86	50	63	50	50	50	0
②対象指標	ア	人	55,828	56,638	56,829	57,367	57,377	57,925	58,474	59,024
	イ									
③成果指標	ア	件	320	312	315	301	310	305	300	295
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,584	3,088	2,895	4,757	4,881	3,000	3,000
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	1,584	3,088	2,895	4,757	4,881	3,000	3,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正職員 従事人数	正職員従事人数	人	5	4	30	3	30	4	4
		延べ業務時間	時間	460	310	50	150	50	200	200
	(B)人件費計	(B)人件費計	千円	1,895	1,251	201	610	201	807	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	3,479	4,339	3,096	5,367	5,082	3,807	3,000

事務事業名	交通安全施設設置事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度工事費予算を増額しているため、区からの要望に基づき優先度の高いものから交通安全施設の設置を行い、事故件数の減少に務める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・要望があった交通安全施設を整備することにより、危険箇所、事故件数が減少すると思われ、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 住民からの要望に基づき必要な箇所に施設の設置や修繕を行なっているため、削減は出来ない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・要望箇所は増えてきており、その調査等に要する時間もあり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・カーブミラー等設置基準を設け対応しており、また交通安全施設は道路利用者が指定されないため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・交通安全施設等の管理は行政の責務であり妥当である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

市内での事故発生件数は減少しており、施設設置が事故防止に繋がっていると感じられる。しかし、各年度の予算内で設置できる箇所は限られており、優先順位の検討が必要となる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<